

いきいき男女共同参画

『日本女性会議2010 in Nagano』 いっしょに輝く 色彩あふれる世界へ

今年度の日本女性会議は京都市で、全国から約3,200人が参加、飯山市からは14名が参加しました。1日目は11の分科会、2日目は全体会で、岡島敦子内閣府男女共同参画局長による基調報告。記念講演は、千葉県の女性弁護士第1号として活躍しながら、仕事と家庭生活を両立してこられた渥美雅子さんとそれを仕事・家庭の両面から支えてこられた剛治さんご夫妻の苦労話と夫婦による



△息の合った渥美ご夫妻の講演と講演者たち

る講演がありました。講演では、苦労だと思えば苦労、遊びだと思えば遊びで、ながら族が性に合っていた。仕事のほかにやりたいこと、考えがあつて初めてバランスがとれる。ワーク・ライフ・インテグレーション（仕事とほかのことの統合）を心がけてほしいと話されました。

「男女共同参画社会の実現」に向け様々な角度から見つめることができた有意義な大会でした。それぞれ参加された感想は次のとおりです。

▼渥美ご夫妻が素晴らしい！うらやましい！ナイス夫婦ワーク。私達夫婦も頑張るか…。帰りのバスの中でもいろいろなお話を聞くことができ、充実した時間となりました。

▼「多文化共生」より…大会は晴天に恵まれ、人との出会いの大切さを感じた日々でした。日本人とフランス人の考え方の違いが印象的でした。日本のどの地域でも、違いを超えて共に生きる社会づくりを皆で一歩踏み出したいと思う。

▼「介護と地域福祉」より…介護体験を語ることが介護で悩んでいる人の力になると聞き、これから自分も体験談を語り活動に役立てたい。男性も女性も幸せになるためには、何をしなければいけないか？地道に行動に移していきたいと思った。

▼「ワーク・ライフ・バランス」より…パネリストの佐々木常夫さんが「自分の幸せは自分でつかみとる」「仕事も家庭もあきらめない」と力強く発言された。ワークライフバランスは誰もが今、強く望んでいることであり、この社会にとっても必要なことであると感じると同時に、その実現はそんなに遠くないところにあるとも思いました。まずは自分の周りの人たちとの「助けて助けられる」良い人間関係をつくっていくことが最短コース？なのではと感じました。

▼「若者の現在（いま）を語る」より…男性から「男だって生きづらい」という意見。生きがたさは経済的にも関係するが、ハッピーである状態とはやりたいことにおいて、チャレンジできること。辛くてもやりがいのある、働く意義を問い直す必要があるという意見に共感した。

▼「子どもを真ん中に」より…男女共同参画は既婚で子どもがいることが前提で進んでいるのでは？それ以外の人に関心ももてる、本質的な男女共同参画社会が実現できればと思う。

11月12日から25日は女性に対する暴力をなくす運動週間です。

ひとりで悩んでいませんか？ 相手といると怖いと感じたり緊張したりしていませんか？

暴力には、なぐる、物を投げつける、大声でどなる、無視し続ける、生活費を渡さない、交友関係を制限する、性的行為を強要するなど、さまざまなものがあります。暴力は、次第にエスカレートして、被害が深刻になることがあります。相手との関係を「つらい」「なにかおかしい」と感じたら、一度ご相談ください。

☎内閣府DV相談ナビ 0570-0-55210
☎市女性相談員専用携帯電話 080-1080-9924



DV根絶のシンボルマーク

女性が腕をクロスさせた姿で女性に対する暴力を断固として拒絶する強い意思を表しています

女性センター未来 暮らしのセミナー

紅葉の斑尾で… アンチエイジングと和食マナー



最低限のマナーに加えて正しく美しく食べるということの基本を学びました。

仲間うちだけの飲み会ならラフなマナーでもかまいませんが、会食膳を囲む和食のマナーやルールには奥が深いこと、また、知っていることが気分が楽になるだけでなく、どの料理でも共通していえることとして、食事は楽しく相手に不快な思いをさせないことなど、最低限のマナーに加えて正しく美しく食べるということの基本を学びました。

10月23日(土)斑尾高原ホテルで「暮らしのセミナー・アンチエイジングと和食のマナー」を開催しました。

当日は、芸術祭を楽しんだ後、順天堂大学の白澤卓二教授監修の有機栽培の季節の野菜を使った、アンチエイジング食で素材の持つ美味しさをシンプルに味わい、ホテル講師より和食マナーも学びながら体と心のリフレッシュを楽しみました。



参加者からは…

- ・教えていただいたマナーをぜひ、子ども達にも教えてあげたい。
- ・普段、意識していないことを気づくことができ、またこういう講座を開催してほしい。

などなど…いろいろな声が聞かれました。

和食のマナー

講師 斑尾高原ホテル 鈴木 広二先生

- ・和食は箸が基本…箸は右手で上に持ち上げ、器を持つている左手小指でささえ、右手を上から箸に沿って滑らせて下から持つ。
- 箸つかいのタブー
- (探り箸、握り箸、迷い箸、寄せ箸、なめ箸等)

- 【一例として】
- ・逆さ箸…会食で大皿から取り分ける場合、同席の方に気を遣ったつもり逆さ箸。実はこれはマナー違反で

- す。衛生的にも見栄えも悪いので控えましょう。取り箸をお願いするのが基本です。
- ・器は持つて食する…ご飯茶碗、お椀、小鉢、小皿等は手で持つて食べるのが基本
- ・手皿…口に運ぶ際についでに手を添えることは、できるだけさける。
- ・香り(トフレ)…特別な日につけたトフレは繊細な香りを楽しむ和食では抑えて。
- ・食事中の喫煙…たばこのにおいが料理に移ることや料理の香りが消えてしまったら、たばこは全ての食事後一言断ってから吸つ。

女性センター未来 暮らしのセミナー 『お正月の生け花』

女性センター未来では、暮らしのセミナー「お正月の生け花」を開催します。自分で生けた生け花を飾って新年を迎えてみませんか。



期日①
12月25日(土)
午前9:30~11:30
講師:川口 敏子さん



期日②
12月27日(月)
午後1:00~3:00
講師:徳竹 信子さん

(注) ①・②どちらかだけでも参加できます。

場 所:女性センター未来 学習室
材料費:実費2,000円程度

定 員:各日15名
(注) 託児をご希望の方はご予約ください。
申込締切:12月17日(金)

◇お申し込み・問い合わせ先:女性センター未来 Tel.62-0543